

政府共通プラットフォームのリモートアクセス環境の利用拡大による 国家公務員のワーク・ライフ・バランスの一体的推進

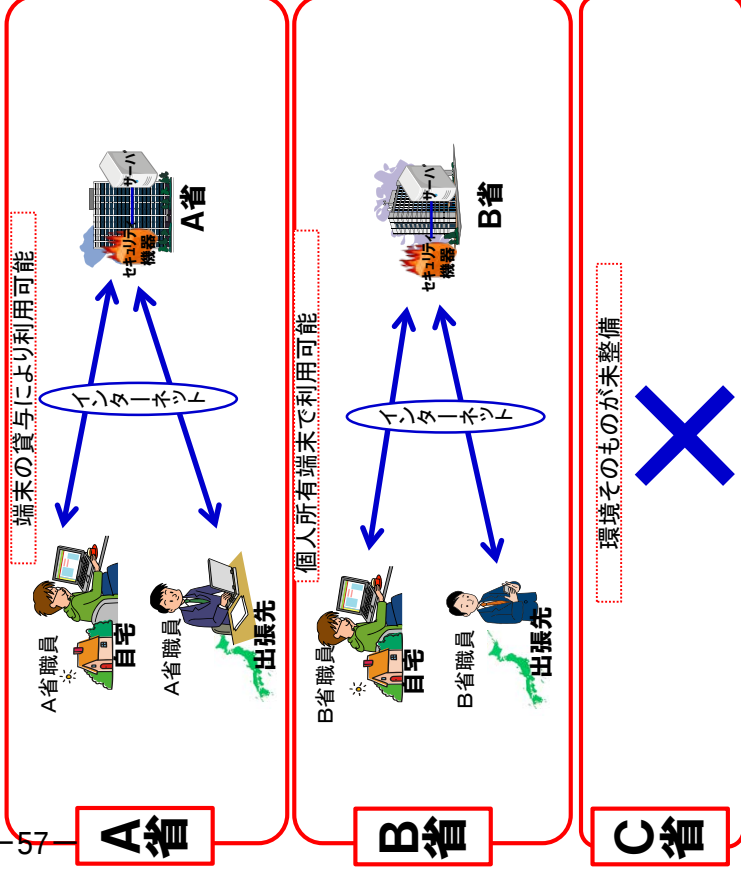
自宅や出張先から職場内のシステムに接続する環境（リモートアクセス環境）を、費用を最小限に抑えつつ、十分なセキュリティ対策の下で府省横断的に機能提供できるよう政府共通プラットフォーム外部接続環境提供サービスとして整備。

- ・職員のワークスタイル変革による業務の効率化を推進
- ・大規模災害時の自宅待機等緊急時における業務継続性を確保
- ・平成27年度末までに5府省が利用開始しており、今後、さらに4府省が追加で利用開始予定
- ・今後も各府省庁の利用希望を把握しつつ、順次利用者数を拡大していく予定

【現状】

- ◆ 府省ごとに必要なサーバ等の機器を整備してきた結果、府省ごとに対応状況が様々
- ◆ サーバのキャパシティ等より利用可能端末台数に制限
- ◆ 府省ごとにセキュリティ対策が多種多様
- ◆ 多くの府省は貸与端末（一部府省は個人所有端末も利用可）

57



【当面の目標】

- ◆ 政府共通PFを活用して、効率的・一元的にリモートアクセス環境を整備し、27年3月から「外部接続環境提供サービス」として提供を開始。自宅にないながら職場と同様の仕事環境を提供
- ◆ これにより、インターネットの接続、機器等の統合・集約とともに、利用可能端末台数の制限の大幅緩和。PCの仮想化技術やネットワークの暗号化などにより、セキュリティ対策の底上げを実施
- ◆ サービス提供後、各府省のLAN更改時等に合わせ利用を拡大

